

ゆうメール

毎月1回5日発行
令和5年11月5日発行
昭和30年5月20日
第三種郵便物承認



高岡商工会議所会報

たかおか

11

2023
November
NO.787

〔特集〕

工芸都市高岡2023

クラフトコンペティション入賞作品決定！



工芸都市高岡2023

クラフトコンペティション 入賞作品決定！

「工芸都市高岡クラフトコンペティション」は、伝統工芸産地発の全国公募展として、1986年より産地プロモーションと地場産業の活性化を目的に生まれ、今回で36回目を迎えました。今、私たちが考える「クラフト」とは、素材の特性を活かした人の手と工夫による創造行為です。社会をより豊潤な未来へ導くような作品を高岡から発信していきます。

2023 公募テーマ 「とびこえる」

この度受賞した作品にはそれぞれ「とびこえる」を感じさせるものがあります。プリミティブな表現の作品や、素材を極限まで活かした作品や、伝統工芸を突き詰めた作品など、多様な作品が集まりました。近年、クラフトという言葉が工芸のジャンルを超えて様々な領域の表現として使われています。

クラフトという言葉は今とびこえつつあります。クラフトを掲げて30数年の歴史があるこの高岡クラフトコンペ。今年選ばれた作品はコンペ最初期の受賞作とは大きく視点が異なったとびこえた作品だと思います。高岡クラフトコンペも今とびこえつつあります。来年以降も是非ご期待ください。

グランプリ

自己のカケラ

田中 良和（愛知県瀬戸市）

素材：陶磁器

【審査員講評】小林 和人

ランダムな散らばりの様でありながら、実は個々の配置は自作の展示台の上で全て作者本人により指定されていることに驚きました。

1点1点はそれぞれ異なる魅力を放つものの、その光は微弱であり、手のひらで微かに明滅する位の控えめな印象を受けます。

しかし、俯瞰して全体で捉えてみると、バラバラだった個々の作品はコンステレーション（布置）的な、総体としての価値を発する存在へと飛躍し、一つの生態系の様にも思えてきます。

多くは、余った土や釉薬、試作として焼いたものなど、制作における副産物を素材としているとの事。日々の意識的な営みからこぼれ落ちた断片ともいえるそれらの無意識性を損なわずに結晶化し、更に意識を巡らせて注意深く配置して差し出す、という「意識」と「無意識」が幾重にも複層する構造は、「クラフトとはなにか」を考える上での手掛かりになるかもしれません。



準グランプリ

たたいて みがいて つくる木の仕事

NEW TRADITIONAL（奈良県香芝市）

素材：木材（ナラ、クリ、ケヤキ、トチ、シデ、スギなど）、
アマニ油、みつろう



【審査員長講評】辰野 しずか

「福祉×伝統工芸の可能性に着目し、新しいものづくりのあり方や伝統工芸の可能性を模索していく」このプロジェクトの中で、作り手が得意とする「叩く」という行為に着目し、それが魅力となるよう素材選びや手法、造形などを考え抜いたディレクターの視点に大変感銘を受けました。石で木を叩くことで生まれた木面のゆらいだ味わいのあるテクスチャーからは、意図的になりすぎることなく無我夢中に作り上げることができる作り手の特長が活きていると感じました。また従来の工芸の在り方を「とびこえた」新たなものづくりという点でも優れた作品だと思います。



優秀賞

めぐるの匙

漆とロック株式会社（福島県会津若松市）

素材：トチの木（国産）、国産漆、中国産漆、錫粉、炭粉）

【審査員長講評】大治 将典

漆のスプーンは数多くありますが、ずば抜けた完成度のスプーンだと感じます。盲目の使い手の高い解像度の触覚を反映し、忍耐強く作られたのではと思います。使い勝手の追求はもちろんですが、匙部分と持ち手部分の継ぎ目にあるエッジの茶杓モチーフや持ち手形状の箸モチーフも和であることを買きたい矜持を感じます。漆の仕事も見事です。口に触れる素材で最も心地よく感じる素材は漆だと思います。日常から漆が消えつつある中、漆を未来に繋ぐ一条の光を感じた作品です。



地域貢献賞

（高岡市長賞）

かたみいれ 百様玲瓏

株式会社山口久乗
（富山県高岡市）

素材：真鍮



地域貢献賞

（高岡商工会議所会頭賞）

寿司

小林 洋行（富山県富山市）

素材：ガラス

個人的な視点賞

（大治将典賞）

COMB

アオミドリ（東京都葛飾区）

素材：寒冷紗、ステンレス線



個人的な視点賞

（小林和人賞）

縄文の香り

内藤 光彦（大太藺文化研究所）
（愛知県名古屋市）

素材：草（大太藺）



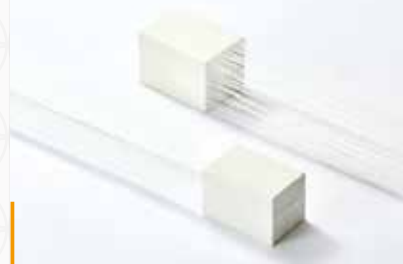
個人的な視点賞

（寺山紀彦賞）

革の敷物

NAOKO KAWACHI
（大阪府高石市）

素材：牛革



個人的な視点賞

（辰野しずか賞）

ASP Ξ CT

アオミドリ（東京都葛飾区）

素材：寒冷紗、セメント

〈審査員〉

審査員長 ・大治 将典（手工業デザイナー）
・寺山 紀彦（デザイナー・美術作家）

・小林 和人（生活用品店 店主）
・辰野 しずか（クリエイティブディレクター・デザイナー）

PHOTO LIBRARY



スタートアップ塾

ウイスキー事業を通じた 企業変革についてご講演いただく

高岡まちなかスタートアップ支援施設(TASU)・高岡熱中寺子屋の協力のもと、高岡商工会議所青年部との共同事業で高岡スタートアップ塾、第4回講演会を開催し、22名が参加した。講師に若鶴酒造(株)代表取締役CEOの稲垣貴彦氏を迎え、「ウイスキー事業を通じた企業変革」というテーマで、伝統工芸高岡銅器の技術を活用した鑄造製ポットスチル「ZEMON(ゼモン)」発明の経緯やジャパニーズウイスキー産業について講演いただいた。若鶴酒造株式会社大正蔵にて講演会を開催し、三郎丸蒸留所見学後、懇親会を開催。自社経営を地域経済の活性化につなげるヒントを探った。



創業講座

全4回で体系的に学び、 創業への第一歩を踏み出す

これから創業を目指す方や開業して間もない方などを対象に、創業の基礎知識などを学ぶ創業講座を開講し、34名が参加した。第1回目には主任講師の丸亀中小企業診断士事務所 代表で中小企業診断士の丸亀徹氏より、創業の心構えとして、目的の再確認や創業に向けての自分自身の棚卸の必要性を説明した。参加者は全4回のカリキュラムの中で、税務やIT活用の他、資金調達・補助金申請に欠かせない事業計画書の作成法などを通じて創業イメージの具体化に取り組む。



常議員会

高岡市への提案要望と 新入会員の承認がされる

第2回常議員会が高岡商工ビルで開催された。冒頭に塩谷雄一会頭が開会のあいさつと高岡市と姉妹都市であるフォートウェーン市との交流について報告した。議案第1号「令和6年度高岡市への提案要望について」、議案第2号「新入会員の承認について」についてそれぞれ審議され、承認された。その後、「高岡古城公園景観再生プロジェクト(高岡古城公園樹木管理行動計画)」について「高岡市景観みどり課江尻典世課長より説明があり、参加者らはプロジェクトの内容への理解を深めた。



若手社員フォローアップ研修

脱新人に向けて、意識を新たに!

入社後半年から3年以内の方を対象に、「若手社員フォローアップ研修」を2階大ホールにて開催し、22社46名が参加した。一般社団法人人材開発トータルサポート富山より野末貴代氏、松崎妙子氏、土屋佳瑞氏、水野浩志氏、片桐健詞氏の5名が講師を務め、電話応対などの基本的なビジネスマナー、職場でのコミュニケーションの大切さ、ハラスメントへの考え方、ストレスへの向き合い方を学び、脱新人となるよう意識を新たにした。